

# 2015年10月8日 地域活性化センター 「説得から納得の政策形成へ～図解思考のすすめ～」 アンケート

脳の使い方に革命が起きたと思った。

物事を俯瞰的に見る、素晴らしい手法を教えてくださいました。

文章は、送り手も受け手もごまかせるというポイントに納得した。

これまでずっと「文章」に情報が示されているのが当たり前だと思っていたので、「図」で示すのは新鮮だった。まずは自分の仕事を図に示す→進化させる。ことをやってみて、家族に見てもらおうと思う。

自分の伝えたいことを図式化することで自分の話したいことの要点や関係性が分かるので、話す順番を見直すことができました。

是非、図解を身につけたいと思った。

東京で初めて誉められました。楽しかったです。

今後は図を積極的に利用していきたい。

計画こそ図解すべきだと思った。

講義で行った「自分の仕事を図にせよ」は、是非、当町の職員にも試してみたい。

物事の関係性がとても整理しやすくなる。とても良い手法であると思った。住民への説明などのユニバーサルデザイン化できる。是非使いたい。

今までの自分の概念が変わった。常に図解思考で仕事に当たろうと思う。

職場において、研修の中で行った「自分の仕事を図解で伝える」ことについて是非みんなでやってみようと思った。

図解の力すごいです。明日からすぐやってみようと思う。

すごく頭が活性化される。

自分の考えをまとめると共に、相手に伝える手法としてすごく勉強になった。

「鳥の目」で物事をとらえて人を納得させるという概念は、なるほどー！と感じた。

文章主義の公務員の職務において、今回学んだ図を取り入れた考え方は非常に有益であると感じた。もし機会が合えば、当町でも、是非ご講演をお願いしたいと感じた。

講演会の記録も図解で行いたいと思います。そのときのコツは何でしょう？

改めて仕事を見つめるきっかけになり、先輩職員にもやってみてほしい。

何よりも久恒氏の経歴に感銘を受けた。サラリーマンとしての可能性について考えさせられた。自分自身の仕事についてのまとめは非常に役立つものになった。図解思考に新たな魅力を感じるようになった。

目からウロコだった。

みんなが話している事は「こういうことだよ」と図で示されたときに全員が納得した事を思い出した。図に落とし込むことを習慣づけたいと思う。

提案事項や引継書で実践します。

自然と自分自身の書き方が“行政”何さになっていたのに気付かされた。図示する際に税金、市民、市長という位置を意識しないで書いていた。広い目で見ると視点が欠けていると感じた。外的世界を広めることで内的世界を深めることの重要性を感じた。

とても大切なことだと思った。

非常に分かりやすい講義、ありがとうございました。

図で引継書を作ってみようと思った。